



認 定 書

国住指第 1307 号

平成 20 年 10 月 20 日

積水化学工業株式会社

代表取締役社長 大久保 尚武 様

国土交通大臣 金子 一義



下記の構造方法等については、建築基準法第 68 条の 26 第 1 項（同法第 88 条第 1 項において準用する場合を含む。）の規定に基づき、同法施行令第 129 条の 2 の 5 第 1 項第七号ハ〔防火区画貫通部 1 時間遮炎性能〕の規定に適合するものであることを認める。

記

1. 認定番号

PS060FL-0428

2. 認定をした構造方法等の名称

排水管・鋳鉄製継手管／外層付ロックウールシート材・セメントモルタル充てん／
床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

3. 認定をした構造方法等の内容

別添のとおり

（注意） この認定書は、大切に保存しておいてください。

1. 構造名：

排水管・鋳鉄製継手管／外層付ロックウールシート材・セメントモルタル充てん／床耐火構造／貫通部分（中空床を除く）

2. 申請仕様の寸法：

申請仕様の寸法を表1に示す。

表1 申請仕様の寸法

項目		申請仕様
開口部	形状	円形：φ209mm以下
	面積	0.0343㎡以下
占積率 (開口面積に対する管の断面積の割合)		51.5%以下
貫通する床の構造等		鉄筋コンクリート 厚さ150mm以上（中空床を除く）

3. 申請仕様の構成材料：

申請仕様の構成材料を表2及び管の構成材料を表3に示す。

表2 申請仕様の構成材料

項目		申請仕様	
防振シート (あり又はなし)	本体	材料	外層付ロックウールシート材 (図1参照)
		寸法	幅200mm以上、総厚さ12.9±1.5mm
		材料	①、②及び③ (3層) ①内層：ポリオレフィン系不織布付ロックウールフェルト ②中間層：ロックウールシート ③外層：アルミニウム・ガラスクロステープ (接着剤付き)
	接着剤 (外層用)	密度	①内層：0.25g/cm ³ ②中間層：0.8g/cm ³
		寸法	①内層厚さ：10.6±0.6mm ②中間層厚さ：2.1±0.5mm ③外層：0.2mm以上
		材料	酢酸ビニル樹脂系
		塗布量	60±20g/m ²
施工用テープ	本体	材料	アルミニウム・ガラスクロステープ (接着剤付き)
		厚さ	0.2mm以上
	接着剤	材料	アクリル樹脂系
		塗布量	60±20g/m ²
充てん材	使用量	材料	セメントモルタル
		組成 (質量%)	普通ポルトランドセメント 25 砂 75
		使用量	隙間を密に充てん

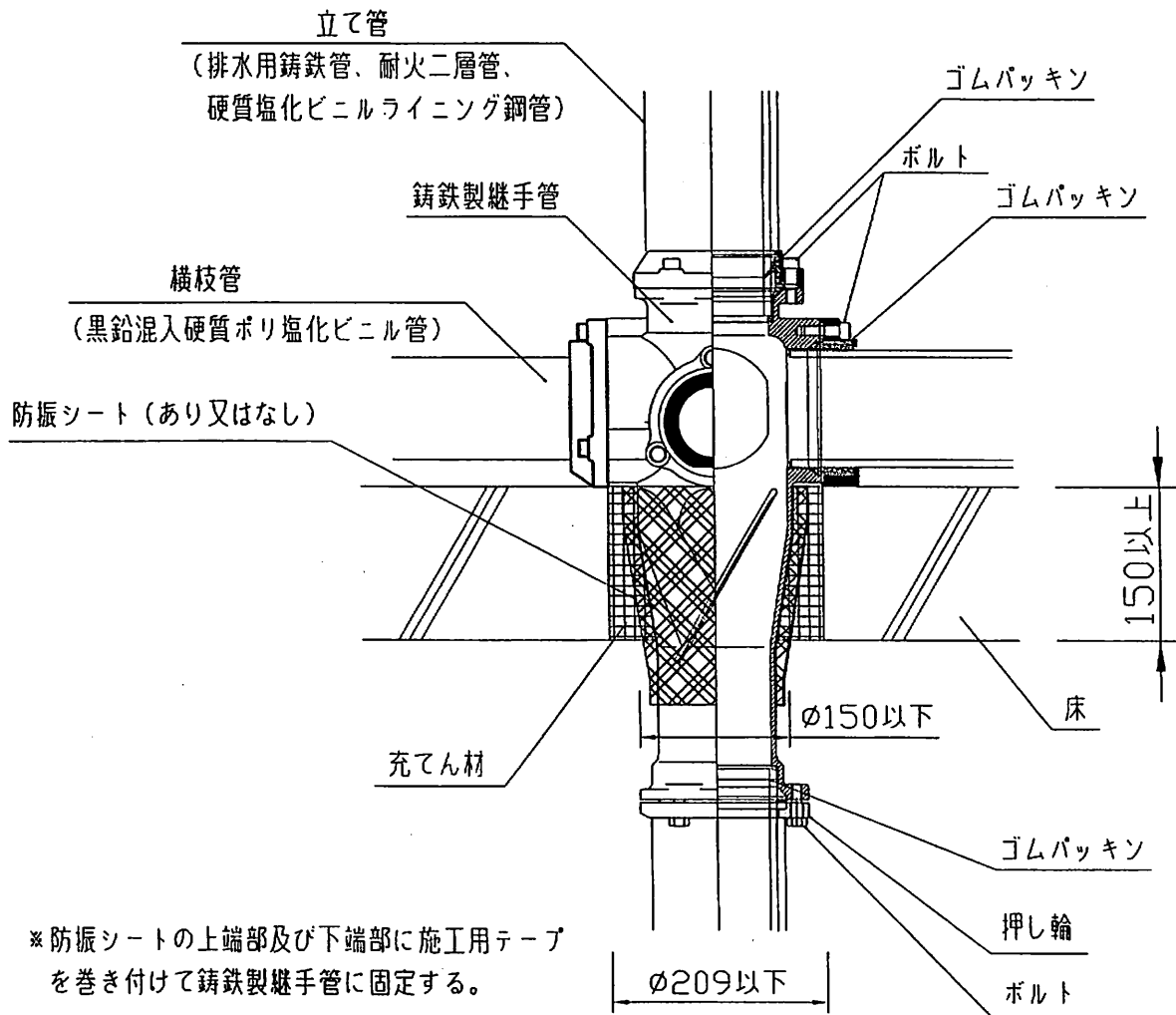
表3 申請仕様の管の構成材料

項目		申請仕様		
铸铁製継手管		種類	Aタイプ（受け口タイプ又は差し口タイプ）又はBタイプ	
		材料	本体：ねずみ铸铁品（JIS G 5501） 表面処理：エポキシ樹脂粉体塗装（焼付塗装） ゴムパッキン：NBR 及びEPDM 押し輪（あり又はなし）：球状黒鉛铸铁品（JIS G 5502） 留付材（あり又はなし）：ボルト（M10以下）	
		形状	図1、図2参照	
		寸法	外径：φ150mm以下、内径φ140mm以下	
排水管 （立て管）	硬質塩化ビニル ライニング鋼管	種類	①又は②（日本水道鋼管協会規格WSP-042） ①硬質塩化ビニルライニング鋼管 ②ラセン状リップ付硬質塩化ビニルライニング鋼管	
		材料	外管：配管用炭素鋼管（JIS G 3452の機械的特性に準拠） 内管：硬質塩化ビニル管 （JIS K 6741又はJIS K 6776の機械的特性に準拠）	
		寸法	外径：φ114.3mm以下、内径φ104.7mm以下	
	排水用铸铁管	材料	排水用铸铁管（JIS G 5525）	
		寸法	外径：φ114mm以下、内径φ100mm以下	
	耐火二層管	外管	種類	耐火二層管協会規格が定める耐火二層管
			組成 （質量%）	普通ポルトランドセメント 59～82 無機質混和材・軽量骨材 13～41 有機質繊維 5.5以下 無機質繊維 6.5以下
		寸法	外径：φ129mm以下、内径φ116mm以下	
		内管 （塩化ビニル管）	材料	種類：①～④の一 ①硬質ポリ塩化ビニル管（JIS K 6741） （記号：VP及びVU） ②水道用硬質ポリ塩化ビニル管（JIS K 6742） （記号：VP） ③耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管（JIS K 6776） （記号：HT） ④リサイクル硬質ポリ塩化ビニル発泡三層管（JIS K 9798） （記号：RF-VP）
	寸法		外径：φ114mm以下、内径φ107mm以下	
排水管 （横枝管）	黒鉛混入硬質ポリ塩化 ビニル管	材料	黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管 （ただし、外径及び厚さは、JIS K 6741に規定する寸法）	
		組成 （質量%）		
		寸法	外径：φ114mm以下、内径φ100mm以下	

4. 申請仕様の構造説明図：

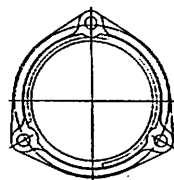
申請仕様の構造説明図を図1及び図2に示す。

単位 mm

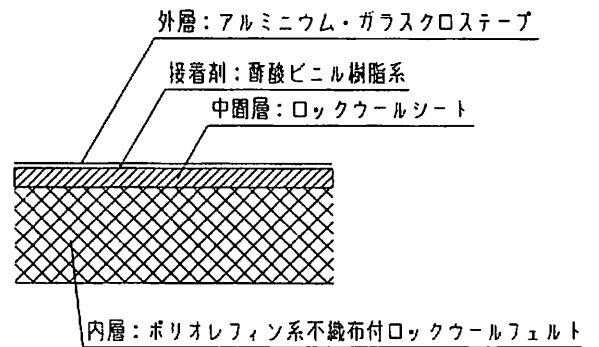


※防振シートの上端部及び下端部に施工用テープを巻き付けて鑄鉄製継手管に固定する。

断面詳細図 (施工例)



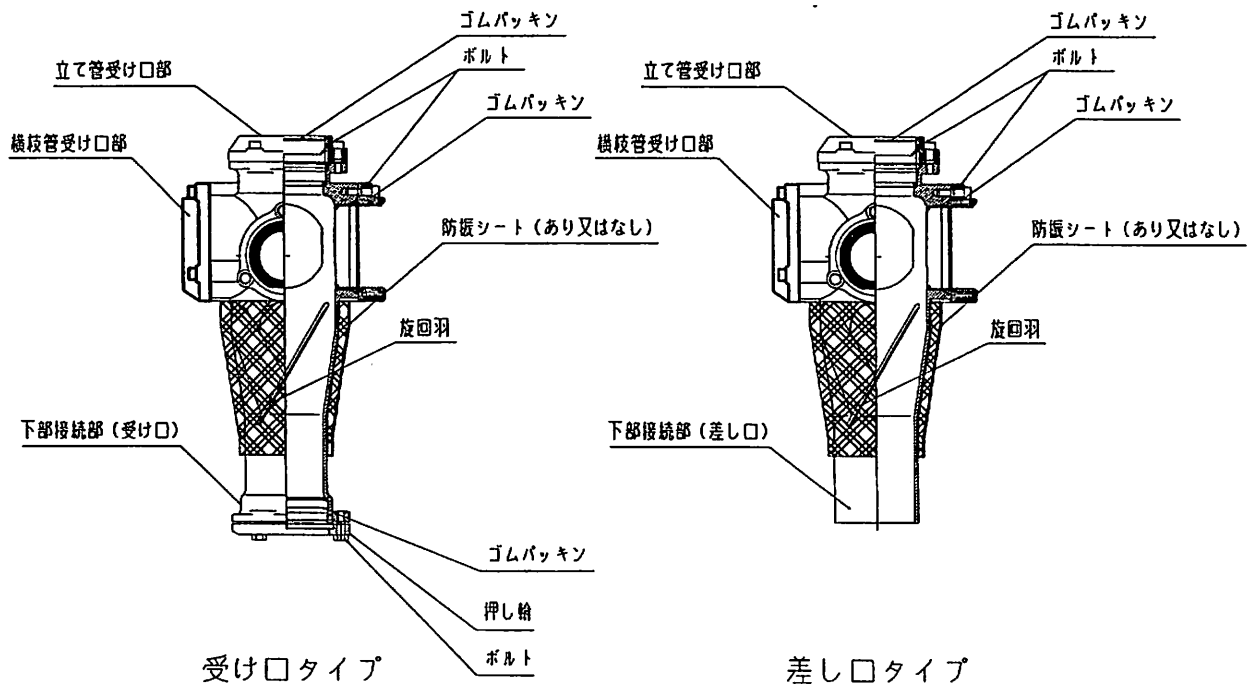
押し輪の形状例



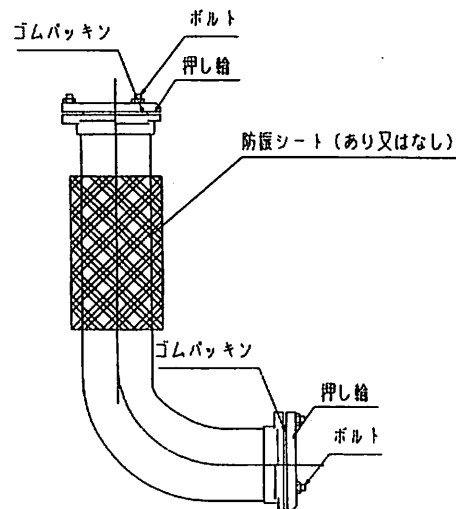
防振シートの詳細図

図1 構造説明図

単位 mm



Aタイプ



Bタイプ

注) 図の形状は代表例を示す

図2 構造説明図

5. 施工方法：

施工図を図3及び図4に示す。

施工は以下の手順で行う。

(1) 開口部の確認

開口部の開口面積、管の寸法、占積率、床の仕様、床の厚さ等が申請仕様に適していることを確認する。

(2) 防振シートの巻き付け（防振シートがある場合）

防振シートを所定の長さに予め裁断する。防振シートの上端が、継手が設置される開口部の上面にほぼ一致するように、継手に巻き付ける。（施工上必要に応じて防振シートの上端が、開口部の上面から露出してもよい）

巻き付けの初端と終端は、隙間なく巻き付け、施工用テープのアルミニウム・ガラスクロステープにて貼り合わせる。（オーバーラップしてもよい）

(3) 継手管と防振シートの固定

防振シートの上端部及び下端部に施工用テープのアルミニウム・ガラスクロステープを巻き付けて継手管に固定する。

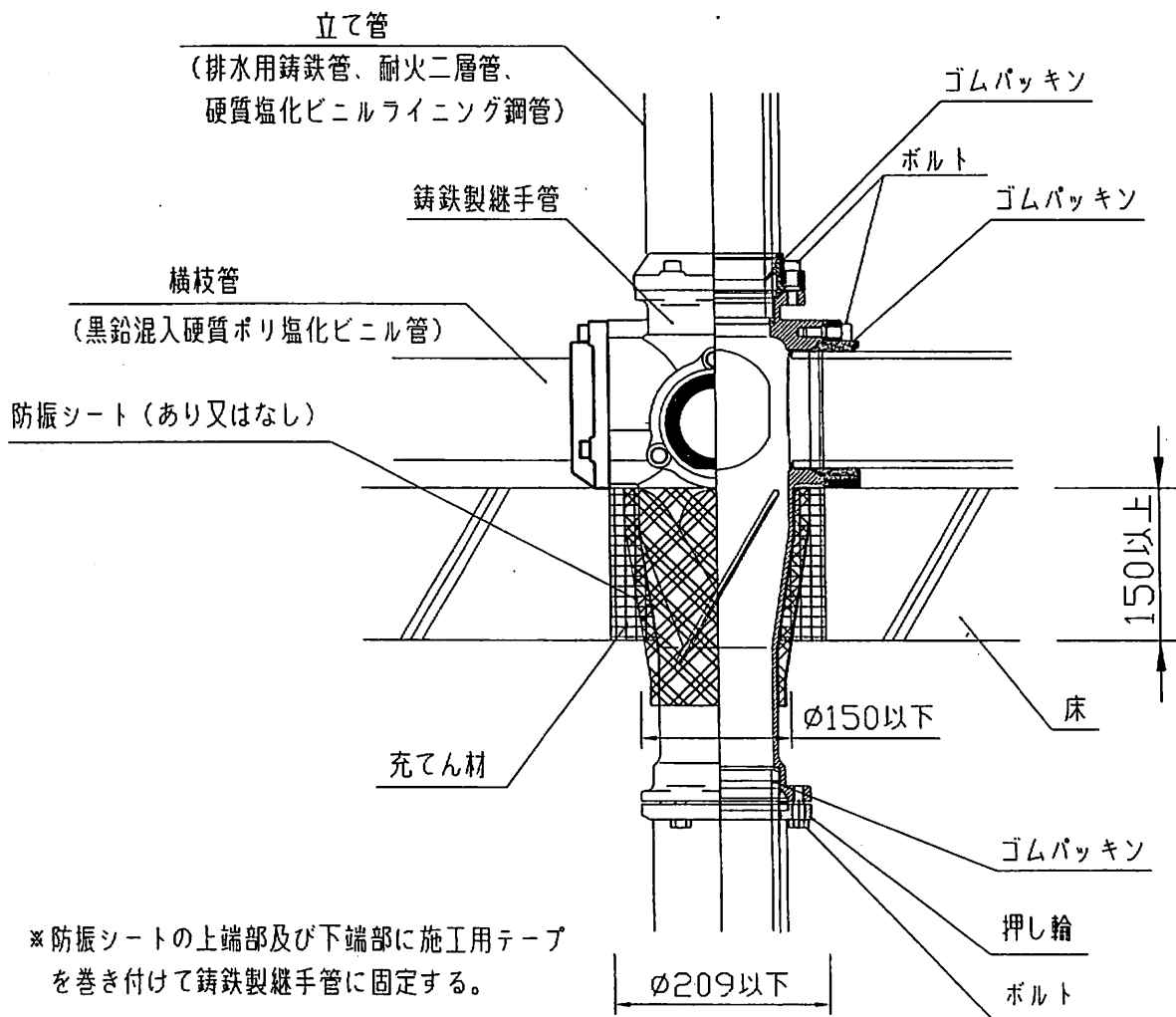
(4) 管と管の接続

継手管の上下接続部に排水立て管を接続する。また、横枝管接続部に排水横枝を接続する。

(5) 開口部の埋戻し

継手管を所定の位置に設置し、開口部の下部に板等を用いて仮押えし、開口部にセメントモルタルを密に充てんする。

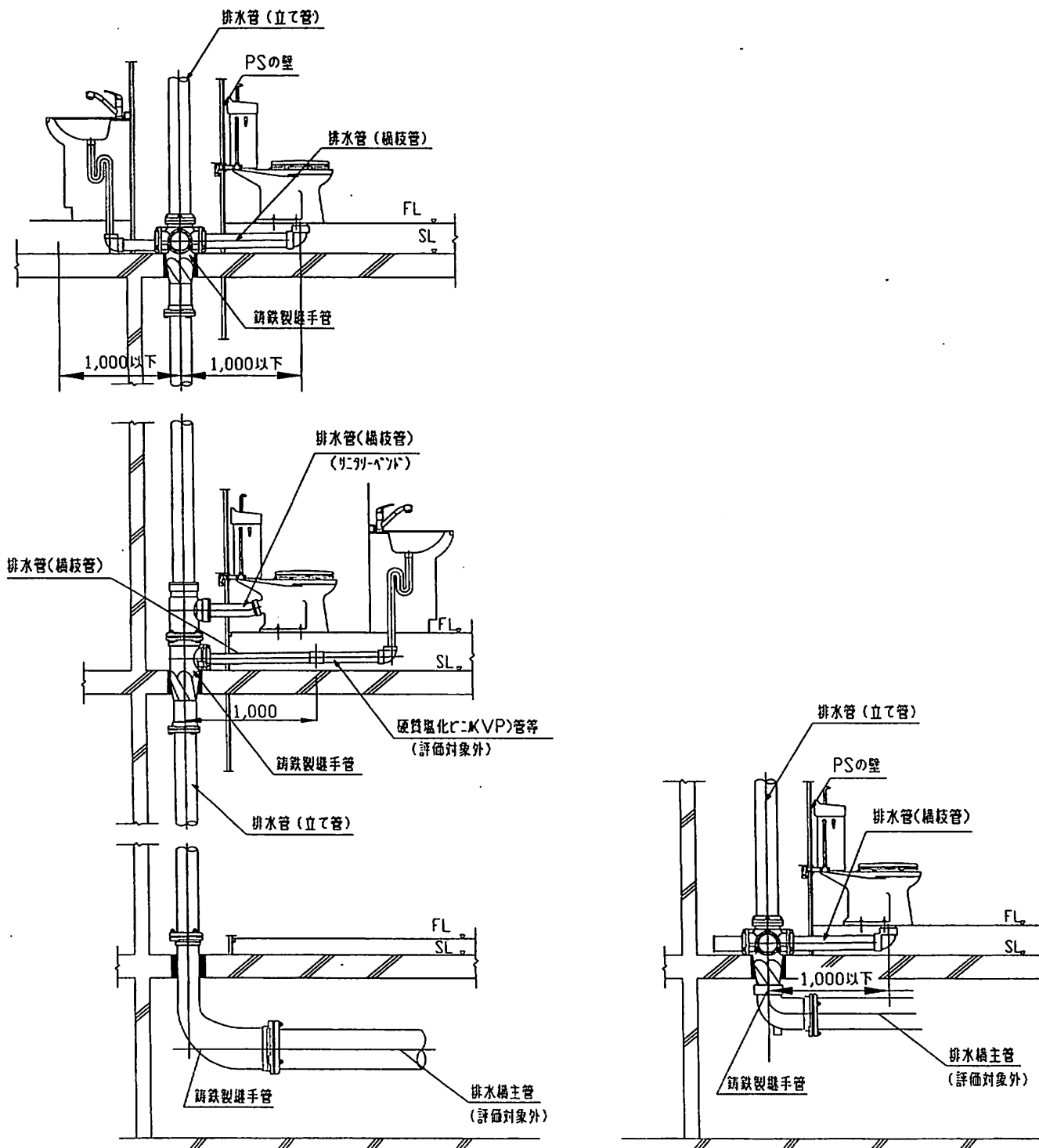
単位 mm



断面詳細図 (施工例)

図3 施工図 (床貫通部標準施工図例)

単位 mm



※注

- 1) 立て管：排水用铸铁管
硬質塩化ビニルライニング鋼管
耐火二層管
- 2) 横枝管：黒鉛混入硬質ポリ塩化ビニル管

図4 施工図(床貫通部標準施工図例)